

Debriefing Assessment for Simulation in Healthcare (DASH) ©

使い方：6つの評価項目に対して下記の評価スケールを用いてデブリーフィングの質を評価して下さい。評価項目1ではシミュレーションの始めるための導入を評価できますが、この導入をあなたが観察していなければ評価しません。DASH 評価者ハンドブックに定義されたように評価項目にはデブリーフィングに関する次元と行動を含んでいます。各評価項目で、デブリーフィングには非常に有効なものから有害なものまで幅があります。その評価項目全体のスコアは個別の次元や行動のスコアを平均して算出される訳ではないことを忘れないで下さい。次元全体に与える影響を考慮する際には全体で考えるように心がけ、それぞれの項目を単純に計算するように考えるべきではなく、次元の重要性は均等ではないこともあります。次元に関する、定められた項目が観察不能であった場合（例：不満を感じた学習者がいなかった場合、不満を感じた学習者にどのように対応したか）、評価がマイナスにならないようにすべきです。

評価スケール

評価	1	2	3	4	5	6	7
説明	全く有効ではない、有害である	常に有効ではない	殆どの場合有効ではない	時に有効である	殆どの場合有効である	常に有効である	非常に有効である

評価項目1ではシミュレーションの始まりの導入を評価します。

（この導入をあなたが観察していなければ、この項目は評価せずに次の評価項目に進んで下さい）

評価項目1

学習者が積極的に参加できる学習環境を創出した

評価項目1の

評価スケール

- シミュレーションコースの目的、環境、役割、学習者に期待される点を明確にした
- 学習者と「シミュレーションを行う上での約束 “Fiction Contract”」を確立した
- シミュレーションコースの運用について必要な情報を説明した
- 学習者を尊重し、立場を理解することを約束した

評価項目2から6ではデブリーフィングを評価します。

評価項目2

学習者が積極的に参加する環境を維持した

評価項目2の

評価スケール

- デブリーフィングの目的、役割、学習者に期待される点を明確にした
- 現実性が限られている設定において学習に取り組めるように手助けした
- 私は学習者に対して敬意を示した
- 学習者への敬意や、学習者の精神的苦痛軽減についての気遣いを示した

評価項目 3

デブリーフィングの有効な枠組みを確立した

評価項目 3 の

評価スケール：

- デブリーフィングの序盤で、学習者がシミュレーションで自ら感じた事を表現するよう促し、必要であればシミュレーションで起こった出来事を理解する手助けをした
- デブリーフィングの中盤で、学習者が自らのパフォーマンスを分析できるように導いた
- デブリーフィングの終盤で、学習者と協力してシミュレーションでの学習点をまとめた

評価項目 4

学習者に活発な議論を促した

評価項目 4 の

評価スケール：

- 質問や議論の題材として、シミュレーションで観察された具体的な例や結果を用いた
- デブリーフィングが自らの根拠や判断を学習者と共有した
- 言語コミュニケーションと非言語コミュニケーションの技術を駆使して議論を進める
- (可能であれば) ビデオや再生機器を用いた
- 動揺している学習者がいる事を認識し、対処した

評価項目 5

学習者のパフォーマンスギャップを正確に認識し、その原因を探索した

評価項目 5 の

評価スケール：

- 学習者のパフォーマンスについてのフィードバックを与えた
- パフォーマンスギャップの原因を探求した

評価項目 6

学習者が将来的に高いパフォーマンスレベルに到達し、維持するかを理解する手助けした

評価項目 6 の

評価スケール：

- 議論と教育によりパフォーマンスギャップを埋めるのを手助けした
- 関連分野の知識が豊富であることを示した
- セッションの重要な学習目標を達成した